

事業報告書 (平成 29 年度)

事業名 ESDユネスコ 絵画コンクール事業

団体名 岡山ユネスコ協会 担当者名 小坂田 孟

※活動の様子がわかる写真（データもお願いします）と説明を必ず添付してください。

1. 活動内容（日時、場所、参加対象者、人数、内容等）

平成30年1月5日～8日

岡山県生涯学習センター1階展示スペース

岡山市内小中学校児童生徒

1500名

岡山県、岡山市、各自の学校、地域内で自慢できる、これから子孫に残していきたい文化財、風景、地域の宝物を絵画で表現し、コンクール形式で優秀なものを展示表彰する。

7月岡山市内130校の小中学校に夏休みの課題として、各校で自慢できる宝物についてESDの観点から絵画で表現するようお願いをした。

11月応募作品から優秀作品を選び入賞者を決定する

1月8日には表彰式を行い保護者も参加して、ESDについての意義を説明する。

地区に優秀作品は岡山ユネスコ協会に預かり今後の展示会に活用する

1月27・28日の京山ESD発表会に展示した。

2. ESDの視点を取り入れたところ、ESDの視点で見直したところ

身近の宝物・自然遺産・神社仏閣・お祭り・海山川などの自然や地域の文化的行事をいれてESDの観点から絵画表現をするよう美術絵画担当者をお願いをした。

3. 取組の成果（参加者にどのような意識や行動の教育上の成果があったか。感想など）

これから自慢して残していくものがESDの観点から見直すと建築物のようなものばかりではなくお祭りとか、自然といったものも大切にしていかなければいけないことに目を向けられた。

4. 今後の課題と展望

応募される学校がユネスコスクールに指定されている学校が多いのでユネスコスクール以外の学校にも参加していただくよう広報活動を進めていく。